

令和5年12月訂正版

大阪衣料品小売国民健康保険組合
第3期保健事業実施計画
(データヘルス計画)

令和7年3月

目次

1. 基本的事項	1 ページ
2. 既存事業の評価	2 ページ～12 ページ
3. 保険者の現状	13 ページ～14 ページ
3.1. データに基づいた現状分析	
3.1.1. 保険者の周辺環境	
3.1.2. 医療費分析	15 ページ～21 ページ
3.1.3. がん検診等実施状況	22 ページ
3.1.4. 特定健診実施状況	23 ページ～27 ページ
3.1.5. 特定保健指導実施状況	28 ページ
4. 健康課題	29 ページ～34 ページ
5. 保健事業の実施内容	
6. 保健事業計画の目的・目標	
7. 特定健康診査等の実施に関する事項（※）	35 ページ
8. 個別の保健事業及びデータヘルス計画の評価・見直し	36 ページ
9. 計画の公表・周知（※）	
10. 個人情報の取り扱い（※）	
11. 事業運営上の留意事項（※）	
12. その他計画策定にあたっての留意事項（※）	
用語集	37 ページ
資料：データ集	38 ページ～42 ページ

※特定健康診査等実施計画に関する項目・内容を含む

1. 基本的事項

(1) 背景・目的

○平成 25 年 6 月 14 日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」としています。

○平成 26 年 3 月、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針において、保険者は PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るためのデータヘルス計画を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとししました。

○令和 2 年 7 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2020（骨太方針 2020）」において、保険者のデータヘルスの計画の標準化等の取組の推進が掲げられ、令和 4 年 12 月に経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画改革工程表 2022」において、「保険者が策定するデータヘルス計画の手引きの改訂等を行うとともに、当該計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切な K P I²の設定を推進する」と示されました。

○このように、全ての保険者にデータヘルス計画の策定が求められ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取組みや評価指標の設定の推進が進められています。

1) 計画の趣旨

幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持及び向上が図られ、医療費の適正化に資すると考えられます。

2) 計画期間

令和 6 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日

3) 実施体制・関係者連携等の基本的事項

国保連合会に設置される保険事業支援・評価委員会と連携・協力し、データヘルス計画の策定を進めます。

保険者協議会にて他国保組合と連携し、共同の健診事業を展開しています。

2. 前期計画の評価

2.1. 特定健診

ストラクチャ	担当者数：専門職 0 人、事務職 1 人 対象者数：令和 5 年度 340 人（40～64 歳 251 人、64～74 歳 89 人） 巡回型集団健診の実施：有 有 ⇒ 実施方法：大阪府国民健康保険組合協議会による生活習慣病集団健康診査					
プロセス	周知活動 広報誌「衣料国保」への掲載。事業主及び 35 歳以上の被保険者の居る健診対象世帯へ案内送付。リーフレットの作成・送付。 受診勧奨の強化対象：40 歳以上の対象者全員 費用負担：無 結果返却方法：健診実施機関から直接返却 結果説明会の開催：無 未受診者への受診勧奨 方法：対象者へ健診案内の送付、未受診者へ受診券とリーフレットを送付。 時期：秋の集団健診予約受付終了後(10 月下旬) 対象者：未受診者全員 対象者数（カバー率）：203 名（100%）					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
アウトプット 未受診者勧奨 実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム 受診率	3.97%	2.55%	2.86%	2.68%	0.88%	2.96%
前期計画 での課題	高齢の受診者が多く、40 代～50 代の受診者が少ない。					
今期計画 での対応	健診案内を早めに送付し、余裕をもって申込ができるようにし、受診率向上を目指します。健診関係を掲載した広報誌、リーフレットを健診対象者へ送付し、健診受診の重要性を理解してもらう。					

2.2. 特定保健指導

ストラクチャ	担当者数：専門職 0 人、事務職 1 人 保健指導対象者数：令和 5 年度 26 人（動機づけ支援 17 人、積極的支援 9 人） 保健指導実施体制：委託（範囲：利用勧奨・初回面接・継続支援・最終評価）					
プロセス	保健指導実施方法：初回面接 集団面接、訪問個人面接 継続支援・評価：郵送・電話 周知活動 広報誌「衣料国保」への掲載、特定健診とともにリーフレットの作成・送付。 利用勧奨 特定健診受診時の利用案内：無 特定健診受診時のプレ指導：無 特定健診当日の初回面接実施：無 結果説明会の開催：無 結果説明時の初回面接実施：無 未利用への利用勧奨 方法：集団面接。その後申込の無かった方へ再度連絡し、訪問面接の希望を伺います。 時期：健診受診から約 3 ヶ月後以降 対象者：該当者全員 対象者数（カバー率）：26 人（100%）					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
アウトプット 未利用者勧奨 実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム 実施率	27.6%	21.7%	21.7%	6.3%	11.1%	3.8%
アウトカム 改善率	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前期計画 での課題	積極的指導の実施率が低いので、更なる取り組みが必要です。					
今期計画 での対応	例年通り、電話による利用勧奨を行い、訪問面接に繋がるよう対応していきます。					

2.3. 高血圧重症化予防対策

2.3.1. 未治療者への受療勧奨

ストラクチャ	担当者数：専門職 0 人、事務職 1 人 重症度別未治療高血圧者数（再掲）130～139mmHg の男性が 11 名と最も多いです。						
プロセス	周知活動 広報誌「衣料国保」等への掲載 特定健診時の取り組み リーフレット配布：有 ⇒ 実施人数 人（100%） 保健指導：有 ⇒ 対象者数：26 人（選定基準：前回の健診結果よりも上昇傾向にある方）実施人数 26 人（100%） 受療勧奨対象者数（カバー率）：令和 5 年度 人（100%） 選定基準：収縮期血圧 160mmHg 以上、拡張期血圧 100mmHg 以上の方 特定健診時勧奨：実施人数 0 人（0%） 特定健診後勧奨：有 勧奨方法：郵送 実施人数 人（100%） 受療確認 本人確認：有 ⇒ 受療者数 0 人（100%） レセプト確認：無 服薬開始（レセプト）：無						
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
アウトプット 受療勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
アウトカム 未治療者に占める割合							
	I 度	10.0%	9.6%	10.2%	9.0%	4.2%	10.0%
	II 度	2.1%	0.7%	2.3%	3.0%	4.2%	0.9%
	III 度	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
前期計画での課題	未治療の受診勧奨者に対し、受診勧奨と受診確認のアンケートを送付していますが、受診までに至っていません。						
今期計画での対応	引き続き、受診勧奨と受診確認を行い、受診に繋がるよう対応していきます。						

2.3.2. コントロール不良治療者への服薬状況確認・保健指導

ストラクチャ	担当者数：専門職 0 人、事務職 1 人 重症度別治療高血圧者数（再掲）：140～159mHg の男性が 5 名と最も多いです。					
プロセス	周知活動 広報誌「衣料国保」等への掲載。 服薬状況の確認：無 ⇒ 対象者数：0 人（カバー率 0%） 選定基準： 特定健診時：実施人数 0 人（0%） 特定健診後：実施人数 0 人（0%） 保健指導：無 ⇒ 実施人数 0 人（0%）					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
アウトプット 保健指導等 実施率	0%	0%	0%	0%	0%	0%
アウトカム 治療者に占め る割合						
I 度	20.0%	24.1%	24.1%	25.7%	22.6%	11.1%
II 度	7.5%	3.4%	13.8%	5.7%	6.5%	7.4%
III 度	2.5%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前期計画 での課題	予備群該当者へ生活習慣に関するアンケートを送付し、回答を基に指導を行っていますが、返信率が低く指導まで至っていません。					
今期計画 での対応	引き続きアンケートを送付し、生活習慣の改善や保健指導に繋がるよう対応していきます。					

2.4. 糖尿病重症化予防対策

2.4.1. 未治療者への受療勧奨

ストラクチャ	担当者数：専門職 0 人、事務職 1 人 重症度別未治療糖尿病者数（再掲）：未治療者のほとんどは HbA1c が 5.6%以上でも 6.4%未満の方。						
プロセス	周知活動 広報誌「衣料国保」等への掲載 対象者数（カバー率）：令和 4 年度 45 人（100%） 特定健診時の取り組み リーフレット配布：有 ⇒ 対象者数：45 人（選定基準：前回の健診結果よりも上昇している方、HbA1c5.6%を超えている方） 実施人数 45 人（100%） 受療勧奨対象者数（カバー率）：令和 4 年度 8 人（100%） 選定基準：HbA1c6.5 以上の方 勧奨方法：郵送 実施人数 8 人（100%） 受療確認 本人確認：有 ⇒ 受療者数 1 人（12.5%） レセプト確認：無 服薬開始（レセプト）：無						
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
アウトプット 受療勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
アウトカム 未治療者に占める割合							
	HbA1c 6.5-6.9%	0.6%	3.2%	4.1%	2.6%	2.1%	0.8%
	HbA1c 7.0-7.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.7%	0.0%
	HbA1c 8.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前期計画での課題	未治療の受診勧奨者に対し、受診勧奨と受診確認のアンケートを送付していますが、受診までに至っていません。						
今期計画での対応	引き続き、受診勧奨と受診確認を行い、受診に繋がるよう対応していきます。						

2.4.2. コントロール不良治療者への服薬状況確認・保健指導

ストラクチャ	担当者数：専門職 0 人、事務職 1 人 重症度別治療糖尿病者数（再掲）：HbA1c6.5 未満 男性 3 名、女性 2 名 7.0%～7.9% 男女各 2 名 9.0%以上 男性 2 名					
プロセス	周知活動 広報誌「衣料国保」等への掲載。 服薬状況の確認：無 ⇒ 対象者数：0 人（カバー率 100%） 選定基準： 実施人数 0 人（0%） 保健指導：無 ⇒ 実施人数 0 人（0%）					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
アウトプット 受療勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム 治療者に占める割合						
HbA1c 6.5-6.9%	16.7%	37.5%	44.4%	33.3%	0.0%	27.3%
HbA1c 7.0-7.9%	22.2%	12.5%	22.2%	50.0%	36.4%	9.1%
HbA1c 8.0%以上	16.7%	12.5%	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%
前期計画での課題	予備群該当者へ生活習慣に関するアンケートを送付し、回答を基に指導を行っていますが、返信率が低く指導まで至っていません。					
今期計画での対応	引き続き、アンケートを送付し、生活習慣の改善や保健指導に繋がるよう対応していきます。					

2.5. 糖尿病性腎症重症化予防対策

ストラクチャ	<p>担当者数：専門職 0 人、事務職 1 人</p> <p>糖尿病性腎症疑い者数 合計 0 人</p> <p>糖尿病疑い・未治療者</p> <p>尿蛋白陰性：1～2 期 0 人 ⇒ 糖尿病治療のための受療勧奨</p> <p>尿蛋白陽性：3 期 0 人 ⇒ 糖尿病治療・腎症予防のための受療勧奨</p> <p>eGFR 30 未満：4 期 0 人 ⇒ 強力な受療勧奨</p> <p>糖尿病治療中</p> <p>尿蛋白陰性：1～2 期 0 人 ⇒ 治療継続支援</p> <p>尿蛋白陽性：3 期 0 人 ⇒ 医療と連携した腎症予防の保健指導</p> <p>eGFR 30 未満：4 期 0 人 ⇒ 腎症対策強化について連携</p>					
プロセス	<p>周知活動</p> <p>広報誌「衣料国保」等への掲載</p> <p>対策対象者数（カバー率）：令和 4 年度 6 人（100%）</p> <p>選定方法：健診結果より上昇傾向にある者</p> <p>実施内容：生活習慣に関するアンケートを行い、回答を元に指導を行います。</p> <p>未治療者：郵送または電話にて受診勧奨を行っています。</p> <p>治療者：郵送または電話にて保健指導を行っています。</p> <p>実施人数：6 人（実施率 100%）</p>					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
アウトプット 保健指導 実施率	100%	100%	100%	100%	100%	
アウトカム 人工透析 有病率	0.0%	0.27%	0.3%	0.46%	0.49%	
新規透析 導入率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
前期計画 での課題	アンケートの回答率が低いので、指導までに至らないケースが多い。					
今期計画 での対応	未治療の受診勧奨者に対する受診勧奨を強化し、引き続き受診勧奨と受診確認を行っていきます。					

2.6. たばこ対策

対象者数	令和4年度：377人					
実施方法	ニュース「衣料国保」に掲載、リーフレットも送付。					
アウトプット	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
禁煙支援実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム 喫煙率	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計
男性（2018）	21.4%	25.9%	11.1%	50.0%	7.1%	22.4%
男性（2022）	23.5%	25.0%	18.8%	10.0%	12.5%	19.7%
女性（2018）	25.9%	21.4%	15.4%	9.1%	0.0%	16.9%
女性（2022）	9.5%	21.2%	6.7%	11.1%	21.4%	15.2%
前期計画 での課題	喫煙者に禁煙意識を持ってもらうことが課題です。					
今期計画 での対応	引き続き、禁煙に関するリーフレットを送付していきます。					

2.7. ポピュレーションアプローチ

2.7.1. 肥満対策・糖尿病予防

対象者数	令和4年度：16人					
実施方法	健診結果を元にリーフレットを送付。上昇傾向者には生活習慣に関するアンケートを行い、回答を元に指導を行います。保健指導対象者に健康セミナーの案内を送付し、参加希望者にセミナーを行っています。					
アウトプット	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
イベント等参加率	0%	0%	0%	0%	0%	0.6%
アウトカム 糖尿病有病率	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計
男性（2018）	0.0%	0.0%	1.37%	5.48%	1.37%	8.22%
男性（2022）	0.0%	0.0%	1.43%	2.86%	5.71%	10.0%
女性（2018）	0.93%	0.93%	0.0%	0.93%	0.0%	2.8%
女性（2022）	0.0%	0.0%	1.23%	0.0%	3.7%	4.94%
前期計画での課題	アンケートの返信率が低いので、指導までに至らないケースが多い。 健診セミナーへの参加希望者がいない。					
今期計画での対応	引き続きリーフレットの送付、上昇傾向者には生活習慣に関するアンケートを行っていきます。2023年度は健診受診者全員に健康セミナーの案内を送付しています。					

2.7.2. 高血圧予防

対象者数	令和4年度：25人					
実施方法	健診結果を元にリーフレットを送付。上昇傾向者には生活習慣に関するアンケートを行い、回答を元に指導を行います。保健指導対象者に健康セミナーの案内を送付し、参加希望者にセミナーを行っています。					
アウトプット	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
イベント等参加率	0%	0%	0%	0%	0%	0.6%
アウトカム 高血圧有病率	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計
男性（2018）	0.0%	5.48%	2.74%	4.11%	9.59%	21.92%
男性（2022）	1.43%	4.29%	8.57%	5.71%	0.0%	21.43%
女性（2018）	0.0%	2.8%	1.87%	2.8%	6.54%	14.02%
女性（2022）	0.0%	1.23%	3.7%	2.47%	7.41%	14.81%
前期計画での課題	アンケートの返信率が低いので、指導までに至らないケースが多い。 健診セミナーへの参加希望者がいない。					
今期計画での対応	引き続きリーフレットの送付、上昇傾向者には生活習慣に関するアンケートを行っていきます。2023年度は健診受診者全員に健康セミナーの案内を送付しています。					

2.7.3. がん検診

対象者数	令和4年度：425人					
実施方法	がん検診単体では行っていません。集団健康診査において、特定健診とともに実施しているものと契約健診機関において、人間ドック・生活習慣病健診とともに実施しています。					
アウトプット	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
受診勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム がん検診受診率						
胃がん	29.6%	31.4%	29.8%	32.6%	29.6%	28.0%
肺がん	37.3%	38.4%	37.6%	42.5%	41.4%	40.4%
大腸がん	35.0%	37.4%	36.4%	41.3%	40.0%	39.1%
乳がん	17.4%	22.6%	25.0%	26.2%	24.8%	26.6%
子宮頸がん	2.0%	1.5%	11.6%	12.5%	12.7%	12.8%
前期計画 での課題	特定健診の受診率を向上させ、がん検診受診者数も上昇を目指します。					
今期計画 での対応	がんとがん検診に関するリーフレットを送付。健康意識と受診率向上を図り、がんの早期発見に繋げるため、引き続き対策を行っていきます。					

2.7.4. 歯科検診

対象者数	令和4年度：389人					
実施方法	大阪府国民健康保険組合協議会において、大阪府歯科医師会に加入の歯科医院・診療所にて実施しています。					
アウトプット	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
受診勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム 歯科検診有病率						
40歳	11.1%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳	22.2%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
60歳	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%
70歳	11.1%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%
前期計画 での課題	受診者が非常に少ないので、受診意識の向上が必要です。					
今期計画 での対応	歯と歯ぐきの健康及び歯科検診に関するリーフレットを送付。歯科検診意識向上のため、引き続き対策を行っていきます。					

2.8. その他の保健事業

2.8.1. 後発医薬品の利用普及

対象者数	令和4年度：610人					
実施方法	後発医薬品差額通知書の送付。ニュースに掲載及び、被保険者証更新時にカード付きリーフレットを全世帯へ配布しています。					
アウトプット	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
差額通知実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム 後発医薬品 利用率	62.0%	72.5%	73.1%	75.1%	76.8%	77.8%
前期計画 での課題	大阪府や全国平均と比べても利用率は低めです。					
今期計画 での対応	少しずつ利用率は上がっているので、引き続き普及啓発を行っていきます。					

3. 保険者の現状

3.1. データに基づいた現状分析

3.1.1. 保険者の周辺環境

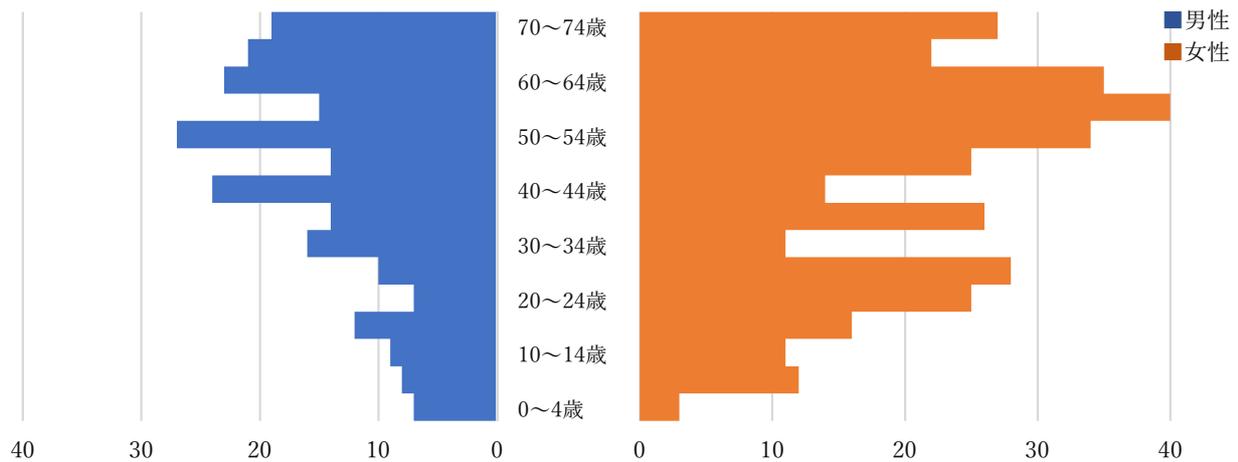
3.1.1.1. 業種・業態の特徴

被保険者数は約 550 人と少なく、衣料品の販売並びに仕立加工業を営む者及び事業所に使用される者とその家族が加入対象です。その中でも婦人服を販売している事業所が最も多く、女性事業主・女性従業員が多数加入しており、男性より女性が多い組合です。

3.1.1.2. 被保険者の状況

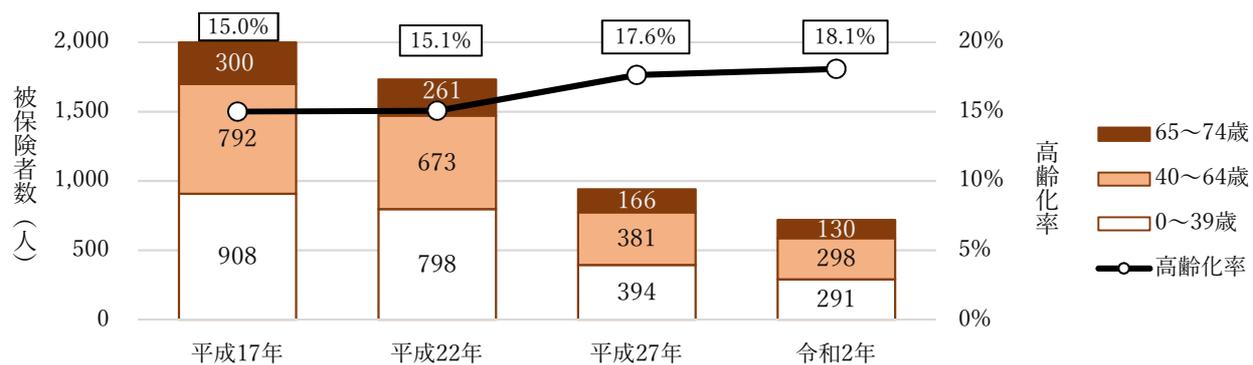
年齢階級別では、女性は 50～54 歳、男性は 70～74 歳が最も多く、年々高齢化率は増加傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。

図 1. 性・年齢階級別の被保険者分布



資料：KDB システム被保険者構成

図2. 年齢階級別の被保険者分布および高齢者割合の推移



資料：大阪府国民健康保険事業状況

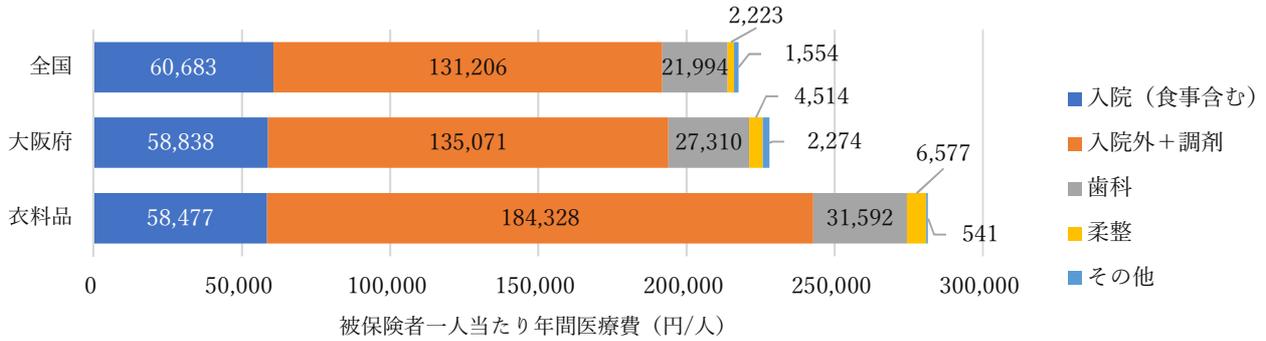
3.1.2. 医療費分析

3.1.2.1. 費用区分別医療費（入院、入院外+調剤、歯科、柔整など）

令和4年度は全国平均や大阪府平均と比べて医療費が高く、特に高齢者の一人当たりの医療費が高くなっています。

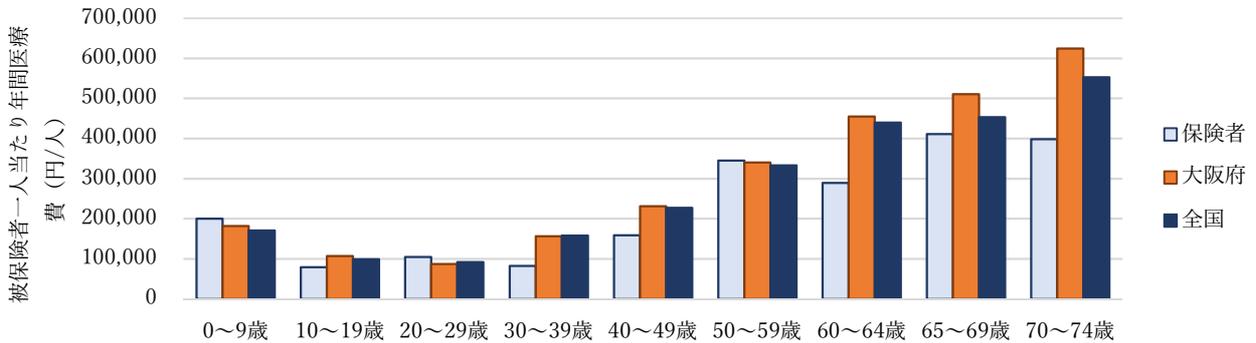
令和5年度は全体的に大阪府や全国の平均に比べて少ないです。

図3. 被保険者一人当たり年間医療費の比較（令和4年度）



資料：大阪府国民健康保険事業状況・国民健康保険事業年報

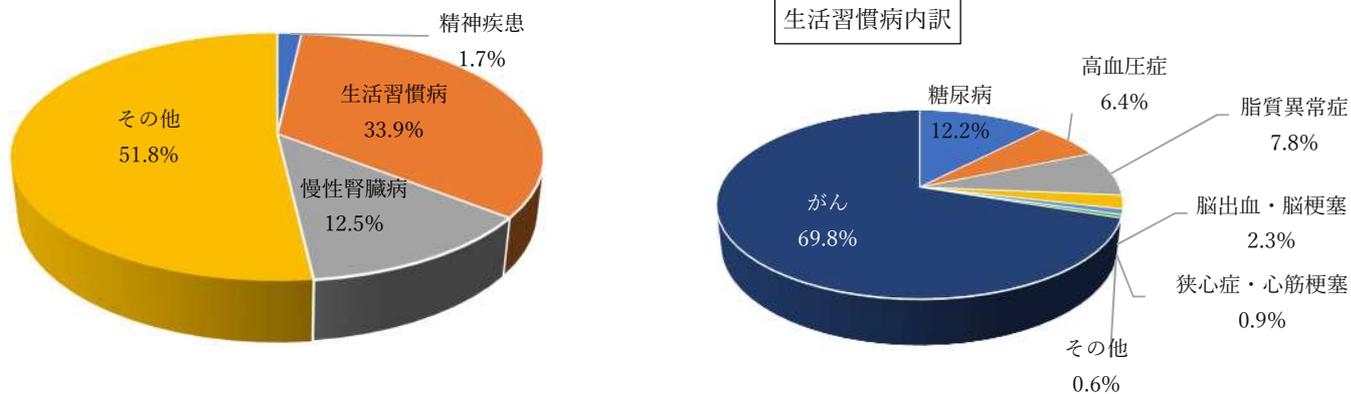
図4. 年齢階級別の被保険者一人当たり総医療費(医科)の比較（令和5年度）



資料：KDB システム 疾病別医療費分析から算出

3.1.2.2. 医療費順位の主要疾患別医療費
生活習慣病患者が約7割を占めております。

図 5. 総医療費に占める生活習慣病の割合（令和5年度）



順位	傷病名	全医療費に占める割合	総医療費（円）	入院医療費（円）	入院外医療費（円）
1	がん	23.7%	30,266,940	15,198,690	15,068,250
2	糖尿病	4.1%	5,271,100	309,060	4,962,040
3	高血圧症	2.2%	2,772,790	0	2,772,790
4	脂質異常症	2.7%	3,388,170	0	3,388,170
5	脳梗塞・ 脳出血	0.8%	1,010,960	813,050	197,910
6	狭心症・ 心筋梗塞	0.3%	399,770	0	399,770
7	その他	0.2%	241,900	0	241,900

資料：KDB 疾病別医療費分析

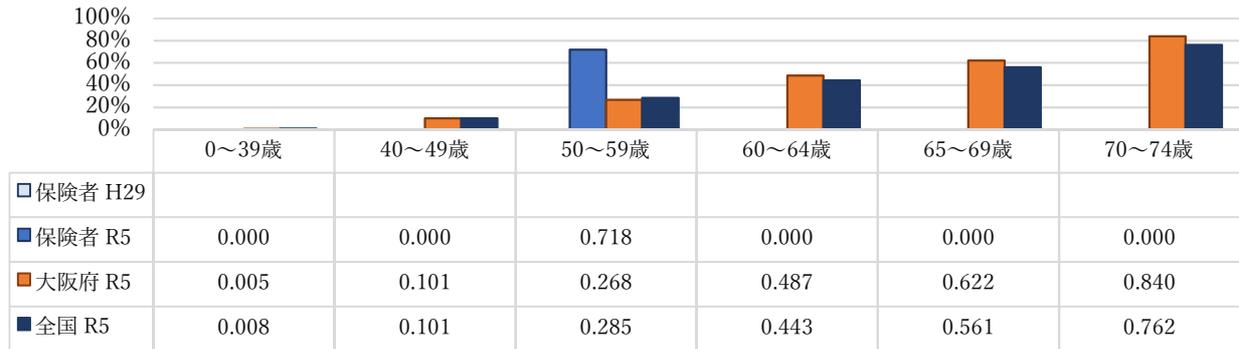
3.1.2.3. 性別・年齢階級別の主要疾患患者数

3.1.2.3.1. 脳血管疾患・虚血性心疾患・人工透析

虚血性心疾患は50～59歳が大府や全国よりも大幅に高くなっています。

人工透析の40～49歳が非常に高くなっていますが、千人未満の当組合ほどの疾病も該当者は0名～2名と非常に少ないです。

図 6. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（虚血性心疾患・入院）（令和5年度）



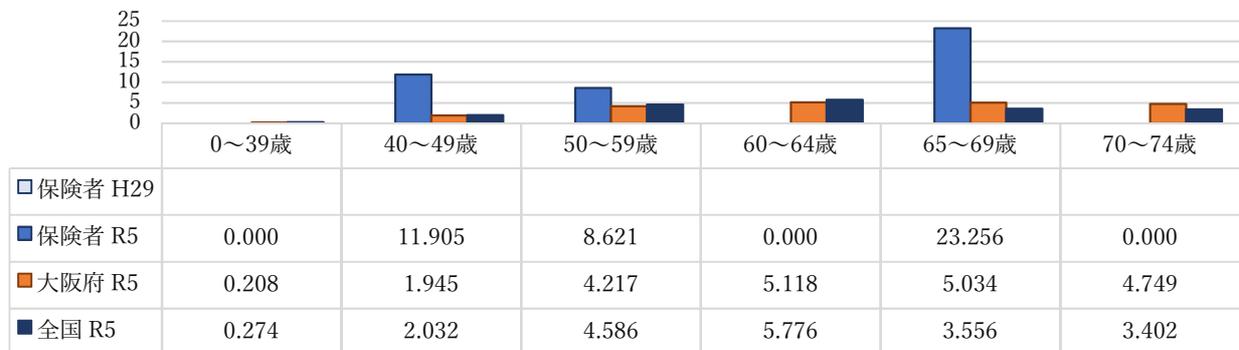
資料：KDB システム 疾病別医療費分析（中分類）

図 7. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（脳血管疾患・入院）（令和5年度）



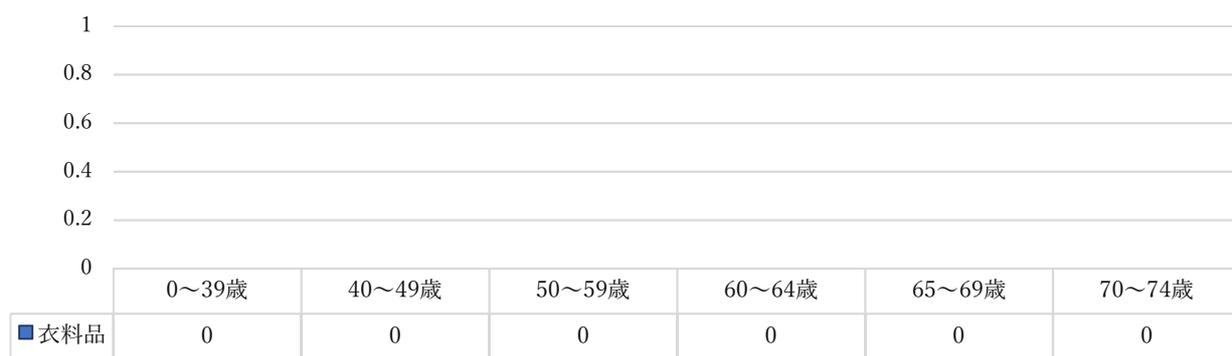
資料：KDB システム 疾病別医療費分析（中分類）

図 8. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（人工透析・入院+外来）（令和5年度）



資料：KDB システム 疾病別医療費分析（細小 82 分類）

図 9. 年齢階級別新規人工透析患者数（令和 5 年度）



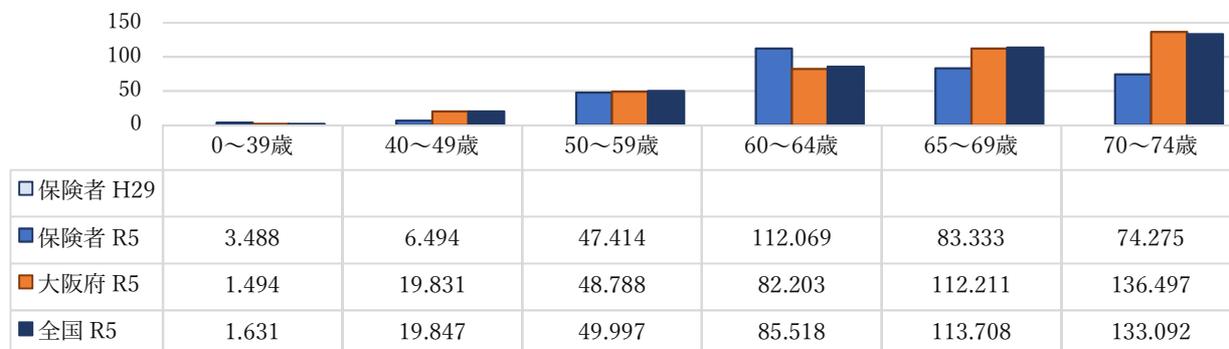
資料：国保中央会集計

3.1.2.3.2. 高血圧・糖尿病・脂質異常症

高齢者になるほど医療費は増加傾向にあります。

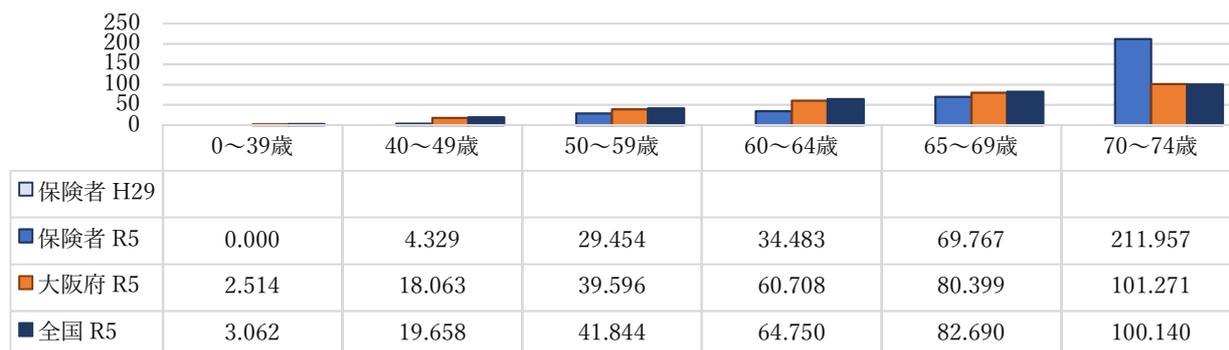
50～59 歳、65 歳以上の脂質異常症は大阪府と全国平均よりも女性の比率が多い当組合は高めの傾向です。

図 10. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（高血圧性疾患・外来）（令和 5 年度）



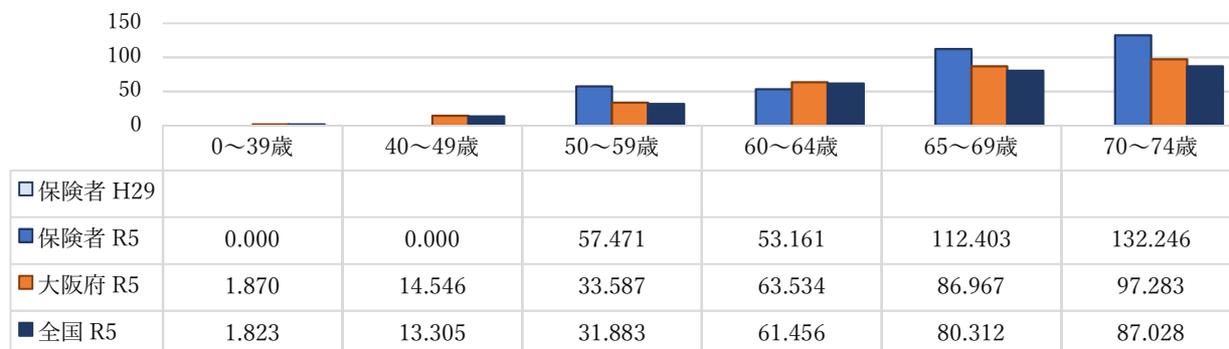
資料：KDB システム 疾病別医療費分析（生活習慣病）

図 11. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（糖尿病・外来）（令和 5 年度）



資料：KDB システム 疾病別医療費分析（生活習慣病）

図 12. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（脂質異常症・外来）（令和 5 年度）



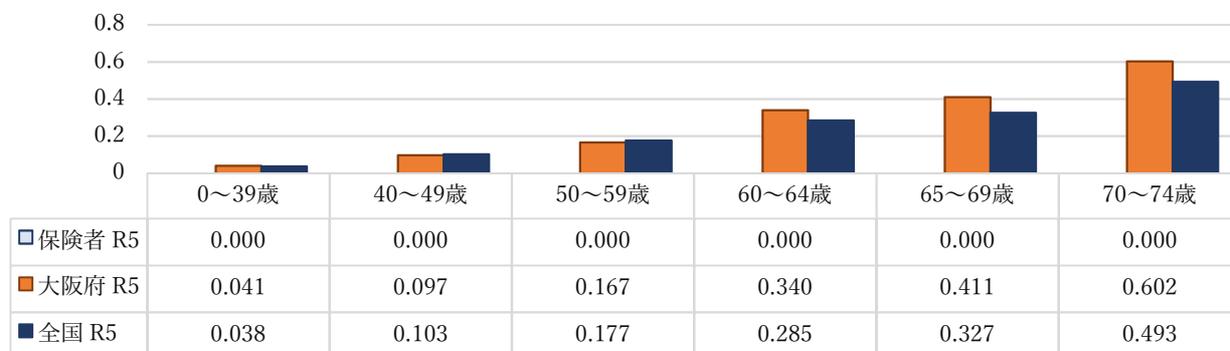
資料：KDB システム 疾病別医療費分析（生活習慣病）

3.1.2.3.3. 肺炎・骨折

肺炎、骨折は0件です。

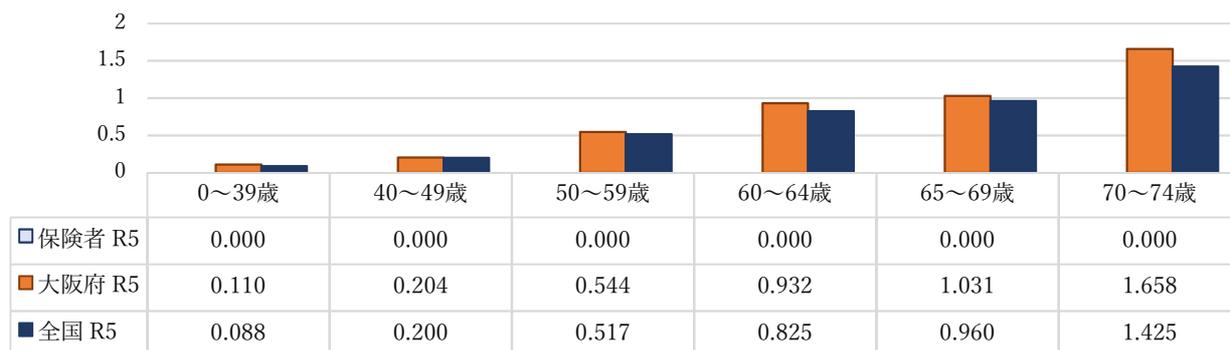
骨粗しょう症は高齢になるほど増加傾向にあります。

図 13. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（肺炎・入院）（令和5年度）



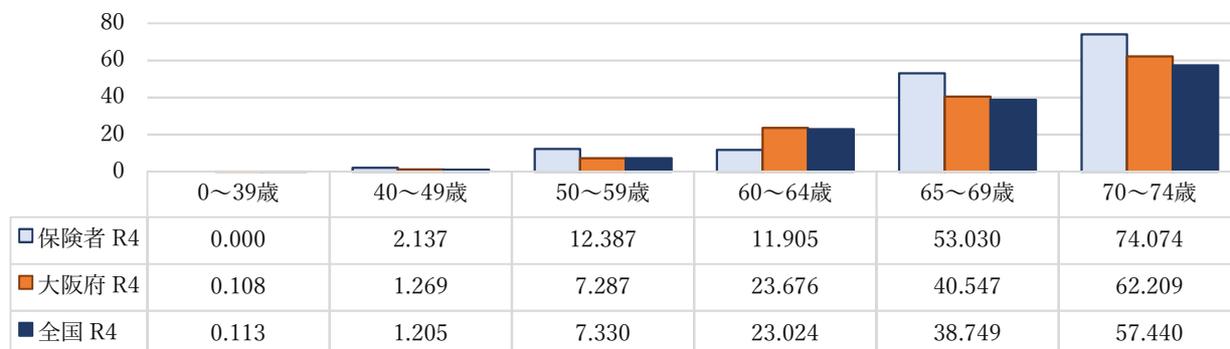
資料：KDB システム 疾病別医療費分析（細小 82 分類）

図 14. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（骨折・入院・女性）（令和5年度）



資料：KDB システム 疾病別医療費分析（細小 82 分類）

図 15. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（骨粗しょう症・外来・女性）（令和5年度）

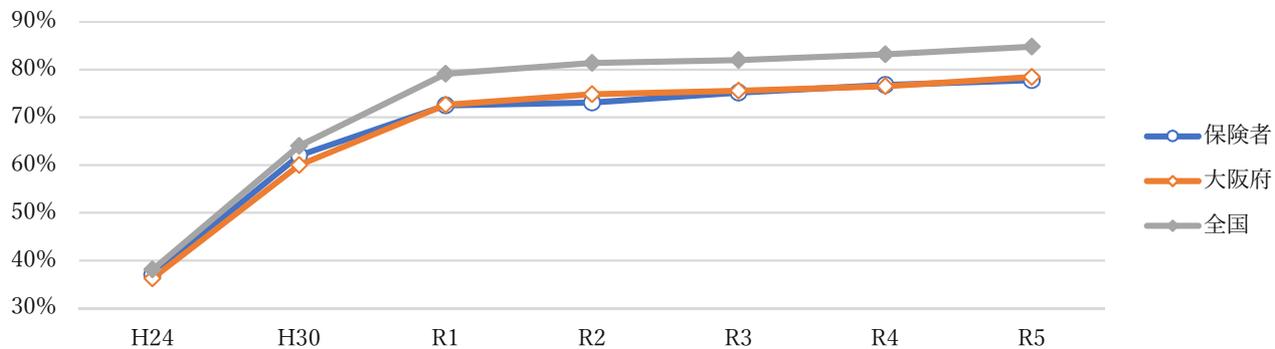


資料：KDB システム 疾病別医療費分析（細小 82 分類）

3.1.2.4. 後発医薬品の利用状況

大阪府や全国平均と比べて利用率はやや低いですが、利用者は年々増加しています。

図 16. 後発医薬品使用割合の推移（数量シェア）



資料：厚生労働省ホームページ（全国）・大阪府国保連合会独自集計（大阪府・保険者）

3.1.3. がん検診等実施状況

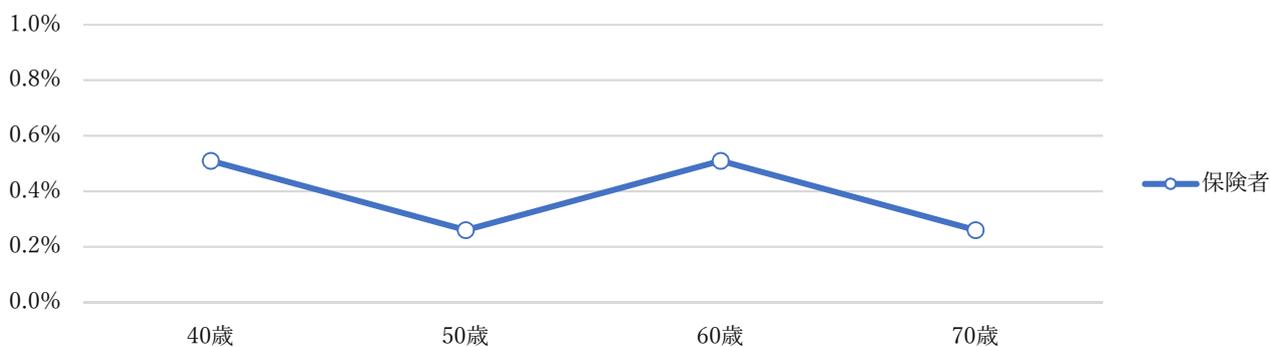
全国と比較すると全てのがん検診の受診率は低い傾向にあります。
特に女性が受診対象である乳がん検診、子宮頸がん検診は、受診者が少ないです。

表 2. 被保険者におけるがん検診受診率（令和 4 年）

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	平均
集計対象年齢	40～69 歳	40～69 歳	40～69 歳	40～69 歳	20～69 歳	
衣料品	32.3%	42.1%	42.4%	25.7%	11.2%	30.7%
大阪府	36.8%	40.3%	42.2%	42.2%	39.9%	40.3%
全国	41.9%	45.9%	49.7%	47.4%	43.6%	45.7%

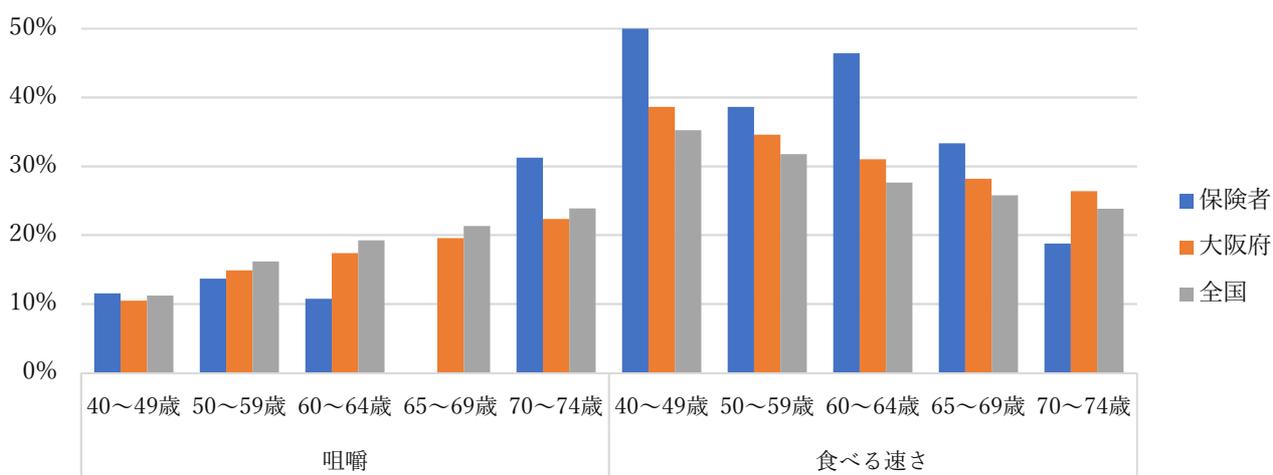
資料：被保険者独自集計

図 17. 歯科検診の受診率



資料：被保険者独自集計

図 18. 咀嚼機能および食べる早さの状況（令和 5 年度）



咀嚼：「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか」に対する「何でもかんで食べることができる」以外の割合
 食べる速さ：「人と比較して食べる速度が速い」に対する「速い」の割合

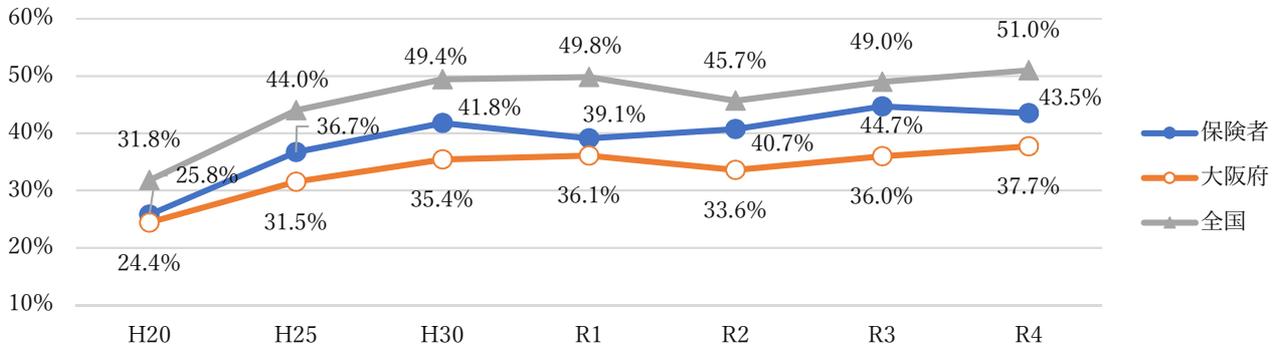
資料：KDB システム 質問票調査の経年比較

3.1.4. 特定健診実施状況

3.1.4.1. 特定健診受診の状況

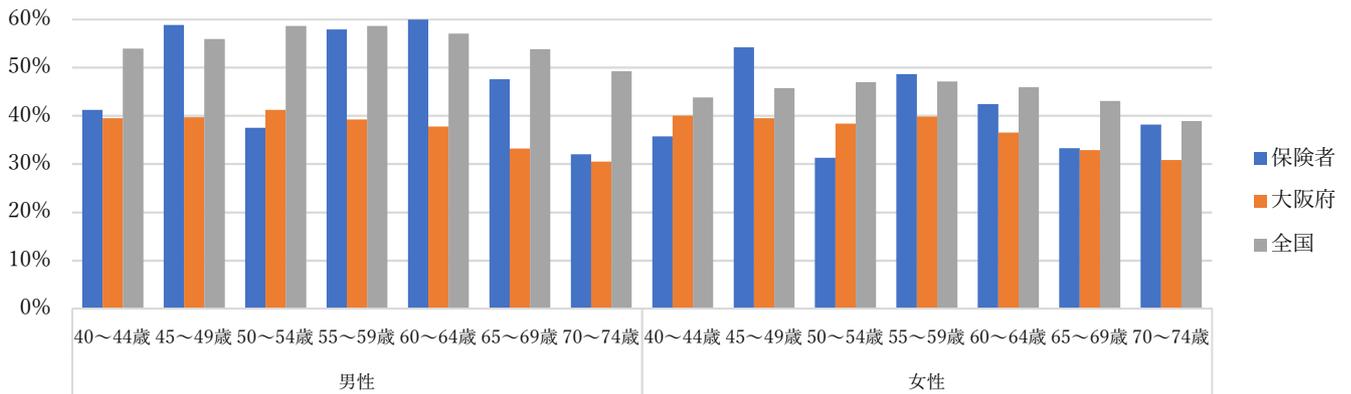
大阪府平均よりは高いが、全国平均には届いていません。

図 19. 特定健診受診率の推移



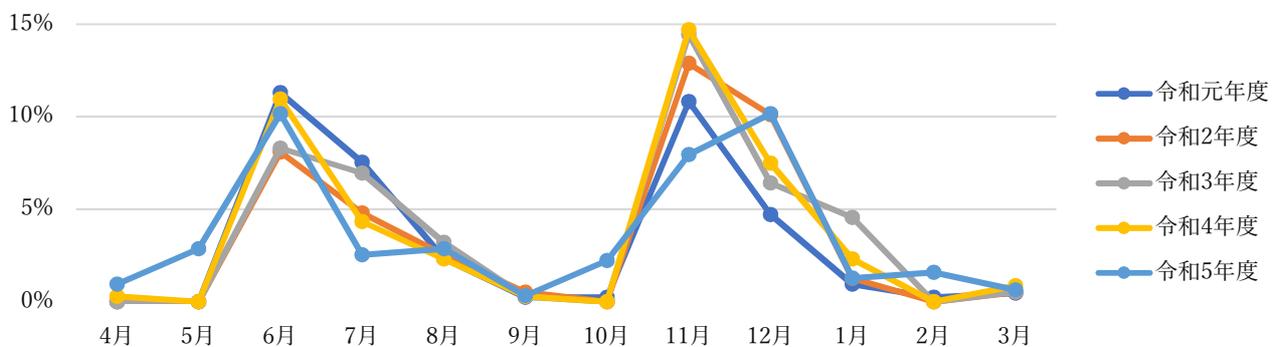
資料：特定健康診査・特定保健指導 法定報告

図 20. 性・年齢階級別特定健診受診率の全国、大阪府との比較



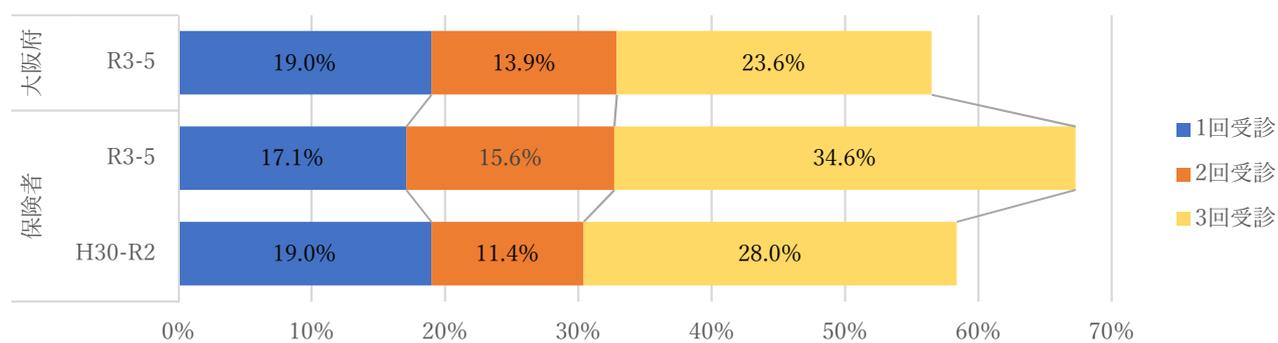
資料：特定健康診査・特定保健指導 法定報告

図 21. 月別特定健診受診率の推移



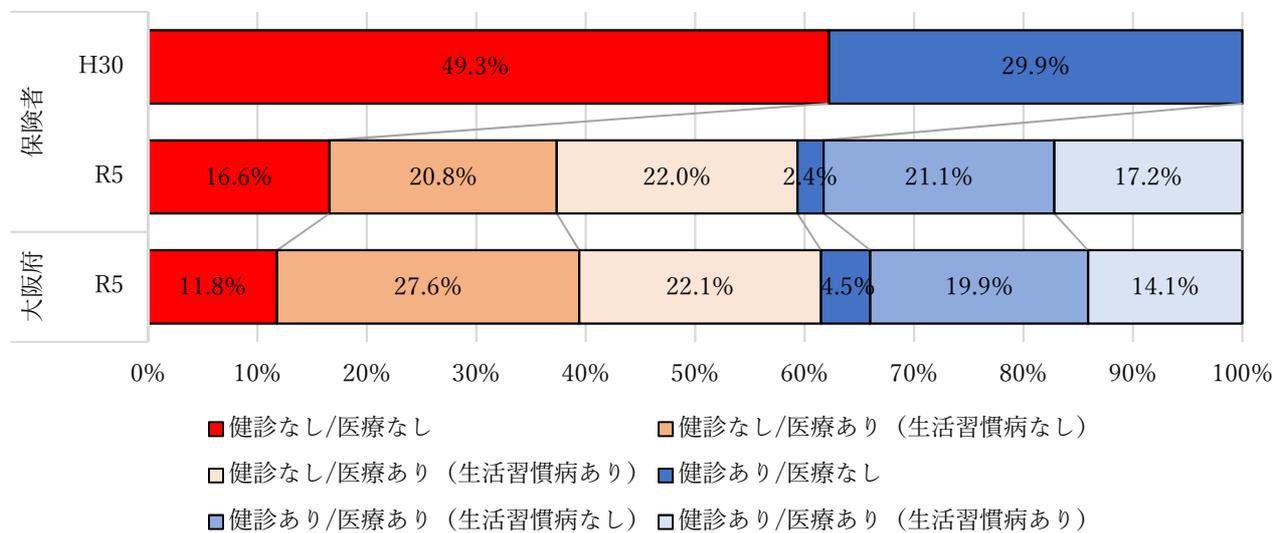
資料：特定健診等データ管理システム TKAC020 特定健診・特定保健指導進捗実績管理表

図 22. 3年累積特定健診受診率



資料：KDB システム 被保険者管理台帳

図 23. 特定健診受診状況と医療利用状況



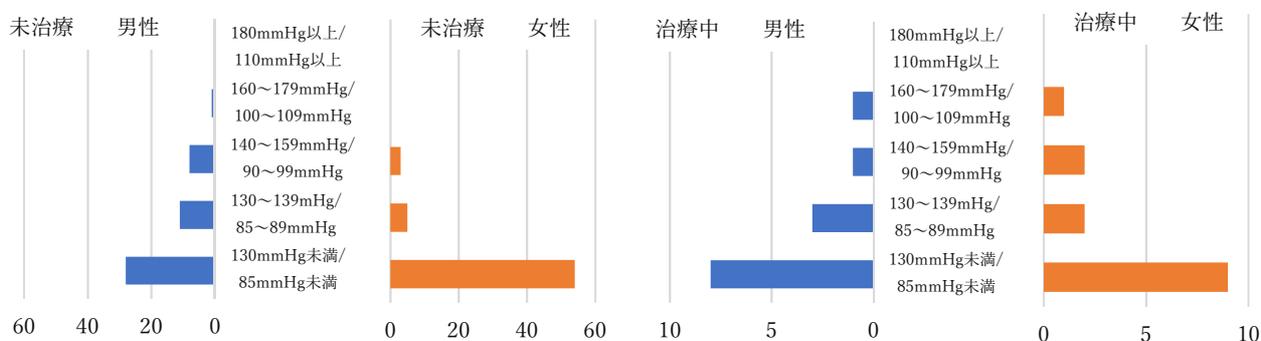
資料：KDB システム 医療機関受診と健診受診の関係表

3.1.4.2. 特定健診受診者における健康・生活習慣の状況

3.1.4.2.1. 高血圧

未治療の基準値以上の方は数人で、治療中の140～159mmHgの男性が最も多いです。

図 24. 治療状況別の高血圧重症度別該当者数



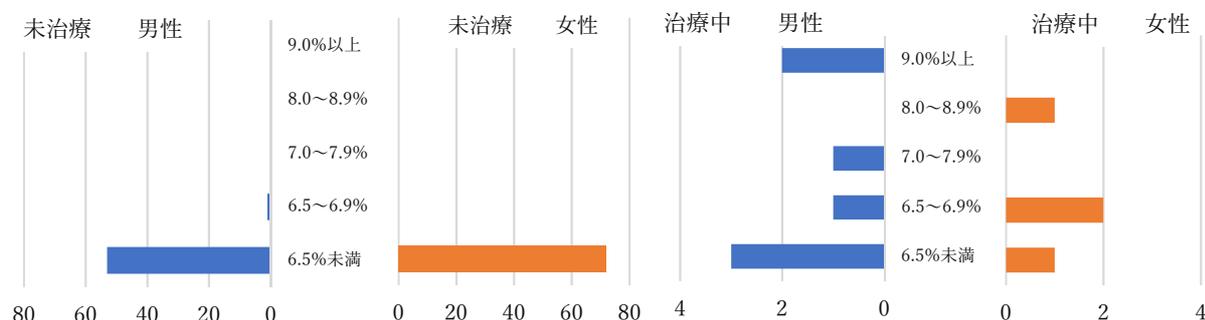
資料：KDB 保健指導対象者一覧

独自集計

3.1.4.2.2. 糖尿病

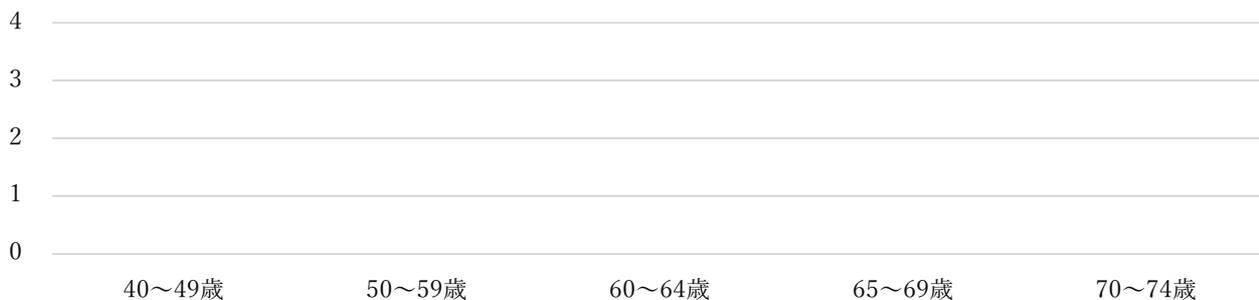
未治療の5.6%以上の方は、数値の上昇を防ぐ情報提供及び指導が必要です。

図 25. 治療状況別の糖尿病重症度別該当者数



資料：KDB システム 保健指導対象者一覧 独自集計

図 26. 糖尿病性腎症重症化予防対象者数（令和5年度）

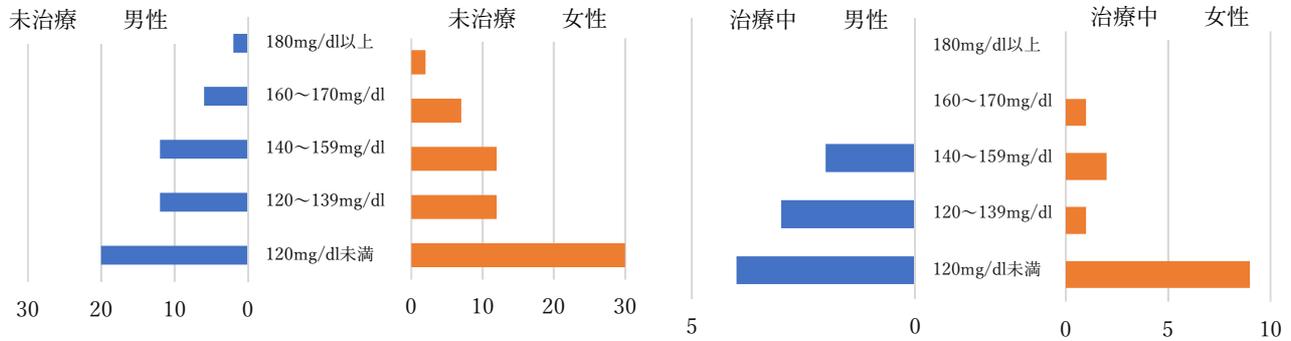


資料：KDB システム 介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）

3.1.4.2.3. 脂質異常症

数値が高めの未治療の女性が特に多いですが、男性より女性は脂質が高めの傾向です。

図 27. 治療状況別の高 LDL コレステロール血症重症度別該当者数



資料：KDB 保健指導対象者一覧

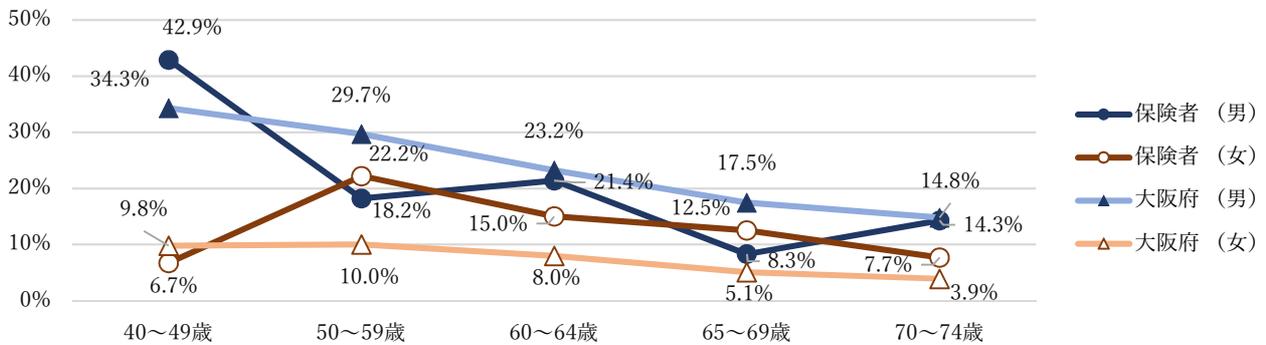
独自集計

3.1.4.2.4. 喫煙

被保険者の喫煙率は、女性は全体的に大阪府平均と比べて非常に高いです。

喫煙による健康被害のリーフレットを送付していますが、健康意識を持っていただき、禁煙者を増やすことが必要です。

図 28. 性・年齢階級別喫煙率



資料：特定健康診査・特定保健指導 法定報告

3.1.4.2.5. 肥満・メタボリックシンドローム

令和3年度のメタボ予備群が前年の倍ほどになっていますが、令和4年度は少し減少しています。令和6年度以降も増加しないよう引き続き対策していく必要があります。

図 29. BMI 区分別該当者数

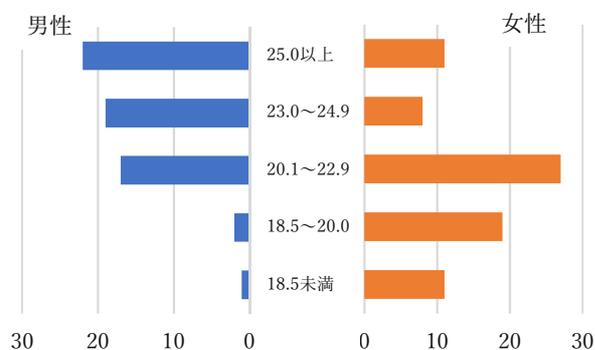
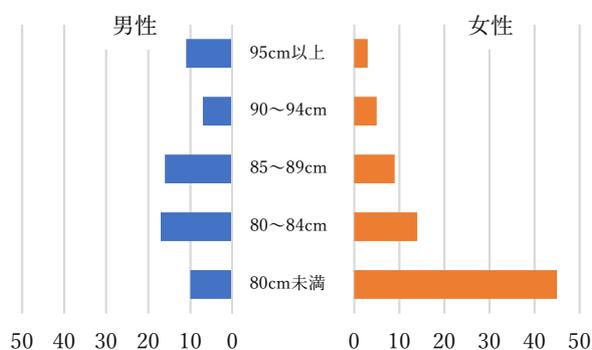


図 30. 腹囲区分別該当者数



資料：KDB 保健指導対象者一覧 独自集計

図 31. メタボ該当者・予備群の出現率の推移

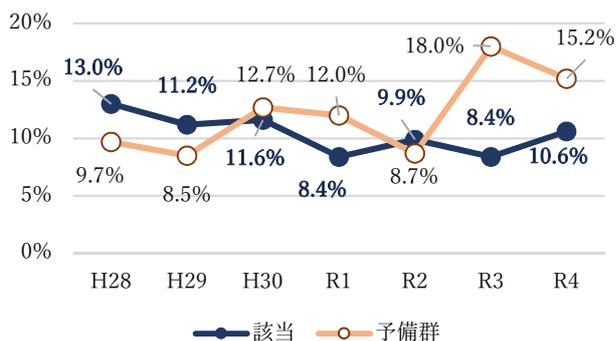
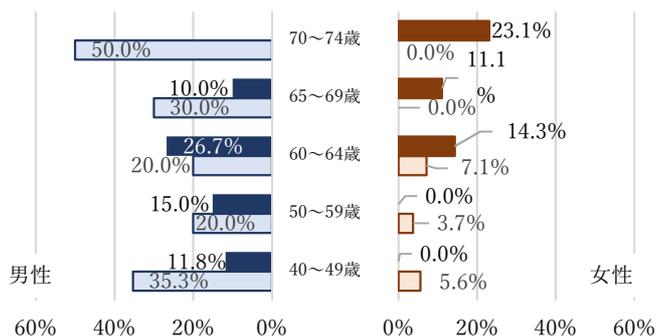


図 32. 性・年齢階級別メタボ該当者・予備群の割合



資料：特定健康診査・特定保健指導 法定報告

3.1.5. 特定保健指導実施状況

3.1.5.1. 特定保健指導利用率および実施率

令和3年度は保健指導を行う者が少なかったため、利用率・実施率ともに前年より低下しています。一人でも多く利用者が増えるよう、引き続き対応していく必要があります。

図 33. 特定保健指導利用率の推移

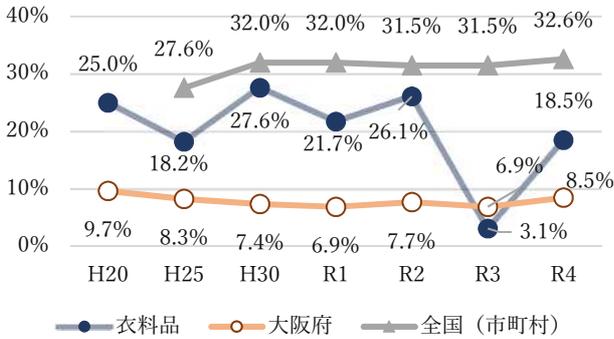
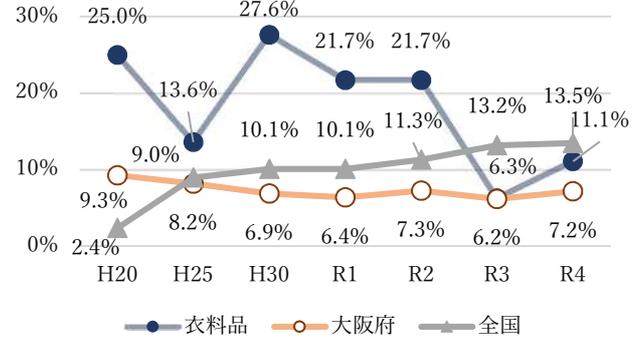


図 34. 特定保健指導実施率の推移



資料：特定健康診査・特定保健指導 法定報告

4. 健康課題

現状分析を表3にまとめている。これらより、以下の通り、健康課題が明らかになり、特に1～3については重点的に対策を行っていくことが必要である。

1. 【重点課題】 特定健診・特定保健指導 受診率向上
2. 【重点課題】 ジェネリック医薬品 利用率の向上
3. 【重点課題】 高血圧、糖尿病患者等の受診勧奨強化
4. タバコ対策 喫煙率の減少
5. 肥満およびメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少

5. 保健事業の実施内容

健康課題と保健事業の対応は表3にまとめている。各保健事業計画については表4にまとめている。

6. 計画の目的・目標

健康課題・保健事業と目標値の対応は表3にまとめた通りである。

表 3. 健康課題・保健事業・目標のまとめ

項目	健康課題	優先順位
特定健診	受診率の向上。	1
特定保健指導	受診率の向上。	2
脳卒中、心疾患	当組合の被保険者数は、1,000 人未満なので、該当者は 1 名、もしくは 0 名がほとんど。	－
人工透析	令和 4 年度は該当者が 0 名。	－
高血圧	対象者に対し、受診勧奨を行っていますが成果は得られていません。	4
糖尿病	対象者に対し、受診勧奨を行っていますが成果は得られていません。	5
脂質異常症	50 歳以上の各世代が大阪府と全国平均を上回っている。	－
がん	がん検診を含む生活習慣病健診及び人間ドックの受診率向上。	－
肺炎	令和 4 年度は該当者が 0 名。	－
骨折	令和 4 年度は該当者が 0 名。	－
後発医薬品使用促進	利用率の向上。	3

表 3. 健康課題・保健事業・目標のまとめ（つづき）

保健事業	目標値（令和 11 年度）	
	アウトプット	アウトカム
未受診者への受診勧奨など	未受診者への受診勧奨実施者の累積カバー率 100%	特定健診受診率 70%
未利用者への利用勧奨など	未利用者への利用勧奨実施者の累積カバー率 100%	特定保健指導利用率・実施率 30%
重症化予防対策 （高血圧、糖尿病、脂質異常症、糖尿病性腎症） たばこ対策	未治療者への受療勧奨実施者の 5 年累積カバー率 100% 糖尿病性腎症疑い者への保健指導実施率 100%	メタボ該当者・予備群有病率 10% 未治療者・治療者に占める割合 Ⅱ度高血圧 HbA1c6.5%以上（未治療）4 名 HbA1c8.0%以上（治療中）2 名 喫煙率 15% 脳卒中、心疾患 有病率 0.5%、SMR 人工透析患者 有病率 0.3%、新規発生率 0%
ポピュレーションアプローチ （減塩、節酒、肥満）	健康セミナーの参加率 10%以上	高血圧有病率 15%
ポピュレーションアプローチ （肥満、運動）	健康セミナーの参加率 10%以上	肥満有病率 5% メタボ該当者・予備群有病率 10% 糖尿病有病率 5%
ポピュレーションアプローチ （肥満、食事）	健康セミナーの参加率 10%以上	脂質異常症有病率 15%
がん検診 たばこ対策	共同健診の案内送付、人間ドック リーフレットの送付、健康セミナーの案内	がん検診受診率 30.7% 喫煙率 15%
肺炎球菌ワクチン接種率向上	—	65 歳のワクチン接種率 0% 肺炎入院率 0%
骨粗しょう症検診受診率向上	共同健診の案内送付 人間ドック	骨粗しょう症検診の受診率 70% 骨折入院率 0%
後発医薬品使用の啓発 医療費差額通知	通知発送者数 20 名 通知者における後発医薬品への切替者数・割合 6 名・30%	後発医薬品利用率（数量シェア） 80%

表 4. 保健事業計画のまとめ

		特定健診 未受診者勧奨	新規対象者への案内	特定保健指導 未利用者勧奨	たばこ対策
計画の概要	目的	健診未受診者の受診を促す	新規対象者は制度に慣れな可能性があるので、健診受診につなげるため案内を強化する	積極的支援該当者の指導の受診率の向上を目指す。	男女ともに喫煙率が非常に高い。健康長寿のため禁煙を勧める。
	対象者	35歳以上の被保険者全員	35歳以上の被保険者全員	特定保健指導該当者全員	被保険者全員
	方法	郵送	郵送	郵送のち電話	郵送
各年度の方向性	令和6年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和7年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和8年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和9年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和10年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和11年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
目標値（令和11年度）	アウトプット	実施率 100% 実施者受診率 70%以上	実施率 100%	実施率 100% 実施者受診率 30%以上	実施率 100%
	アウトカム	特定健診受診率（全体・年齢階級別）30%増加	特定健診受診率（全体・年齢階級別）30%増加	受診率の維持	喫煙率全体で20%未満

表 4. 保健事業計画のまとめ（つづき）

		重症化予防対策		
		高血圧	糖尿病	糖尿病性腎症
計画の概要	目的	未受診の要受診勧奨者とコントロール不良治療者の減少。		
	内容	健診受診後の受診勧奨を強化。		
	対象者	該当者全員。		
各年度の方向性	令和6年度	上記の通り実施。		
	令和7年度	上記の通り実施。		
	令和8年度	上記の通り実施。		
	令和9年度	上記の通り実施。		
	令和10年度	上記の通り実施。		
	令和11年度	上記の通り実施。		
目標値（令和11年度）	アウトプット	実施率 100%		
	アウトカム	Ⅱ度高血圧 (160～179mmHg/100～109mmHg) 男性：4名 女性3名	HbA1c6.5%以上（未治療） 男性：3名 女性：1名 HbA1c8.0%以上（治療中） 男性：4名 女性：2名	140～159mg/dl 以上（未治療） 男性：22名 女性：24名 160～179mg/dl 以上（治療中） 男性：4名 女性：1名

表 4. 保健事業計画のまとめ (つづき)

		ポピュレーションアプローチ		
		肥満・糖尿病予防	高血圧予防	運動促進
計画の概要	目的	健診結果にて上昇傾向者に対し、フォローアップを行い、健康維持を図る。		健診受診者に対し、運動習慣の改善を促し、健康維持を図る。
	内容	上昇傾向者に対し、生活習慣に関するアンケートを行い、回答に合わせて指導を行う。		健診受診者に対し、健康セミナー（運動習慣の改善など）の案内を送付、参加者に対して講習を行う。
	対象者	該当者全員。		健診受診者全員。
各年度の方向性	令和 6 年度	上記の通り実施。		上記の通り実施。
	令和 7 年度	上記の通り実施。		上記の通り実施。
	令和 8 年度	上記の通り実施。		上記の通り実施。
	令和 9 年度	上記の通り実施。		上記の通り実施。
	令和 10 年度	上記の通り実施。		上記の通り実施。
	令和 11 年度	上記の通り実施。		上記の通り実施。
目標値 (令和 11 年度)	アウトプット	実施率 100%		実施率 100%
	アウトカム	ハイリスクアプローチ者になる前に食い止め、正常値の方を増やす。		生活習慣を改善、健康維持し、運動不足によるメタボ予備群・該当者を減らす。

表 4. 保健事業計画のまとめ（つづき）

		がん検診	歯科検診	後発医薬品普及
計画の概要	目的	被保険者の健康維持、がんの早期発見を目指す。	歯と歯ぐきの健康を維持し、歯の不健康は体の不健康にも繋がる事を周知し、健康増進を図る。	後発医薬品の利用率を上げ、医療費軽減を図る。
	内容	生活習慣病健診（集団健診含む）との同時受診、人間ドック	大阪府国民健康保険組合協議会共同事業による大阪府歯科医師会加入の機関での検診	・差額通知書の送付 ・被保険者証更新時に、普及啓発用カードの送付
	対象者	35歳以上の被保険者全員	18歳以上の被保険者全員	被保険者全員
各年度の方向性	令和6年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和7年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和8年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和9年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和10年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
	令和11年度	上記の通り実施。	上記の通り実施。	上記の通り実施。
目標値（令和11年度）	アウトプット	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%
	アウトカム	健診受診率の向上と共に受診率の向上と健康増進を図る。	歯と歯ぐきの健康を維持し、体の健康維持につながるため、受診率向上を目指す。	利用率の上昇と医療費の減少。

7. 特定健康診査等の実施に関する事項

1) 目標

特定健康診査の対象者数および実施率の推計（2023年度：実績値、2024～2029年度：目標値）

	①全対象者数	②実施率	③想定実施者数 (①×②)	④他の法令に基づく 健診受診者数推計	⑤予定実施者数 (③－④)
2023年度	371人	41.2%	153人	0人	153人
2024年度	332人	44.6%	148人	0人	148人
2025年度	330人	43.9%	145人	0人	145人
2026年度	326人	44.2%	144人	0人	144人
2027年度	323人	44.5%	144人	0人	144人
2028年度	320人	44.7%	143人	0人	143人
2029年度	316人	45.0%	142人	0人	142人

特定保健指導の対象者数および実施率の推計（2023年度：実績値、2026・2029年度：目標値）

		特定健康診査 受診者数	動機づけ支援		積極的支援		計 実施率
			対象者数	実施者数	対象者数	実施者数	
個別健診	2023年度	6人	0人	0人	0人	0人	0%
	2026年度	6人	0人	0人	0人	0人	0%
	2029年度	6人	0人	0人	0人	0人	0%
集団健診	2023年度	147人	17人	1人	9人	0人	3.8%
	2026年度	138人	17人	2人	8人	1人	12%
	2029年度	136人	17人	3人	8人	2人	20%
計	2023年度	153人	17人	1人	9人	0人	3.8%
	2026年度	144人	17人	2人	8人	1人	12%
	2029年度	142人	17人	3人	8人	2人	20%

2) 対象者の特徴・分布

特定保健指導対象者は固定化してきており、一度対象となると毎年対象となる方が多いです。

対象者は事業主が多く、多忙なため実施まで至らないことが多いです。

3) 実施体制

3) - 1 特定健康診査

集団健診

生活習慣病共同健診 会場：オリエンタル、厚生会 マイヘルスクリニックなど。

人間ドック 契約機関：淀川キリスト教病院、ベルクリニック、府中クリニック、関西労働保健協会（2機関）、多根クリニック、帝国ホテルクリニック、大阪警察病院附属人間ドッククリニック、医療法人一翠会、医療法人聖授会（3機関）、大野クリニック、那須クリニック、医誠会病院、淀屋橋健診プラザ、日本予防医学協会ウェルビューイング南森町

個別健診

集合契約：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

実施項目

特定健康診査法定項目である特定健診の基本的な項目[問診（既往歴、服薬歴、喫煙習慣を含む）、自他覚症状（理学的所見）、身長・体重・腹囲・BMI、血圧、血液検査（肝機能（AST、ALT、 γ -GTP）、脂質（トリグリセライド、HDL コレステロール、LDL コレステロールまたは Non HDL コレステロール）、血糖（空腹時血糖または HbA1c）、尿検査（糖・たんぱく）]、および詳細な健診の項目[心電図・眼底・貧血]を実施する。血液検査による腎機能検査として、クレアチニン測定を全受診者に実施する。

3) - 2 特定保健指導

		初回面接①	初回面接②	フォロー	最終評価
集団健診	動機づけ支援	厚生会クリニック、オリエンタル労働衛生協会	—	—	厚生会クリニック、オリエンタル労働衛生協会
	積極的支援	厚生会クリニック、オリエンタル労働衛生協会	—	—	厚生会クリニック、オリエンタル労働衛生協会
個別健診	動機づけ支援	—	—	—	—
	積極的支援	—	—	—	—

4) 実施時期・年間スケジュール

健診受診から約 1 ヶ月後

5) 周知・案内の方法

郵送・電話

6) 他の法令等に基づく健診結果の受領（受診者本人からの受領）

なし

7) その他の事項

なし

8. 個別の保健事業及びデータヘルス計画（保健事業全体）の評価・見直し

必要に応じて、適宜、本計画を見直し、大阪府国保団体連合会の指導・助言を受けるものとする。国保データベース（KDB）システムに収載される、健診・医療のデータをもとに、受診率・受療率・医療の動向等について定期的に把握する。また、特定健康診査の法定報告のデータを用いて経年比較を行なうとともに、個々の健診結果の改善度を評価する。

9. 計画の公表・周知

広報誌「衣料国保」への掲載。

10. 個人情報の取り扱い

「個人情報の保護に関する法律」（平成 15 年法律第 57 号）及び大阪衣料品小売国民健康保険組合諸規定「個人情報保護規定」等を遵守するよう周知徹底を図る。

11. 事業運営上の留意事項

本計画に伴う保健事業の実施には、医療機関や委託事業者等の関係機関との連帯体制を確立し、計画の円滑な推進を図ること。

12. その他計画策定にあたっての留意事項

データ分析に基づく保険者の特性を踏まえた計画を策定するため、大阪府国保団体連合会が開催するデータヘルスに関する研修に事業運営に係わる担当者が積極的に参加するものとする。

用語集

用語	説明
ストラクチャ	構造、組織、体系。
プロセス	過程、方法。
アウトプット	直接の結果。事業の成果物、事業量
アウトカム	事業によって生じた状態。効果・成果。
ポピュレーション アプローチ	まだ高リスクを抱えていない集団（予備群）に働きかけ、集団全体がリスクを軽減したり病気を予防したり出来るようにすること。
ジェネリック医薬品 （後発医薬品）	医薬品の有効成分そのものに対する特許である物質特許が切れた医薬品を他の製薬会社が製造・供給する医薬品のことです。 開発費が大幅に削減できるため、新薬と同じ有効成分・同等の効き目でありながら、薬の価格を低く抑えることができます。
国保データベース （KDB）システム	国保データベース（KDB）システムは国保連合会が保険者の委託を受けて行う各種制度の審査支払業務及び保険者事務共同電算業務を通じて管理する「特定健康診査・特定保健指導」、「医療（後期高齢者医療含む）」、「介護保険」等に係る情報を利活用し、統計情報等を保険者向けに情報提供することで、保険者の効率的かつ効果的な保健事業の実務をサポートすることを目的として構築されたシステムです。
診療報酬明細書 （レセプト）	保険医療機関等が診療を行ったときの医療費を、保険者に対して請求する診療報酬請求書に添付する書類です。 患者ごとに毎月一枚作成し、各月に実際に行った診療内容と個々の診療行為に要した費用の額を記入するもので、請求書の明細を示すために作成されます。
特定健康診査	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査のことです。 40歳から74歳が対象で、糖尿病や心臓病、脳卒中などの生活習慣病を早期発見し、重症化を防ぐことを目的とします。
特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高い人に対して、医師や保健師や管理栄養士等が対象者一人ひとりの身体状況に合わせた生活習慣を見直すためのサポートをすることです。リスクの程度に応じて、動機付け支援と積極的支援があります。（よりリスクが高い方が積極的支援となります。）
メタボリック シンドローム	内臓脂肪蓄積に加えて、血糖や脂質（HDLコレステロールと中性脂肪）血圧が一定以上の値を示している場合をいいます。 内臓脂肪の蓄積により、動脈硬化が進行しやすく、心筋梗塞や脳卒中を発症しやすくなります。

資料：データ集

性・年齢階級別の被保険者分布（令和6年3月31日現在）（図1）

	男性	女性
0～4歳	7人	3人
5～9歳	8人	12人
10～14歳	9人	11人
15～19歳	12人	16人
20～24歳	7人	25人
25～29歳	10人	28人
30～34歳	16人	11人
35～39歳	14人	26人
40～44歳	24人	14人
45～49歳	14人	25人
50～54歳	27人	34人
55～59歳	15人	40人
60～64歳	23人	35人
65～69歳	21人	22人
70～74歳	19人	27人

年齢階級別の国保被保険者分布および高齢者割合の推移（図2）

	0～39歳	40～64歳	65～74歳	高齢化率
平成17年	908人	792人	300人	15.0%
平成22年	798人	673人	261人	15.1%
平成27年	394人	381人	166人	17.6%
令和2年	291人	298人	130人	18.1%

被保険者一人当たり年間医療費の比較（令和4年度）（図3）

	入院（食事含む）	入院外+調剤	歯科	柔整	その他
衣料品	58,477円	184,328円	31,592円	6,577円	541円
大阪府	58,838円	135,071円	27,310円	4,514円	2,274円
全国	60,683円	131,206円	21,994円	2,223円	1,554円

年齢階級別の一人当たり総医療費の比較（令和5年度）（図4）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	200,539円	79,153円	104,542円	82,079円	158,821円	345,407円	289,310円	411,368円	398,476円
大阪府	182,302円	107,364円	87,382円	156,297円	231,467円	340,101円	454,839円	510,989円	624,204円
全国	170,581円	98,792円	91,814円	158,364円	227,262円	333,295円	439,996円	453,547円	552,899円

総医療費に占める生活習慣病の割合（令和5年度）（図5）

大分類		生活習慣病内訳	
生活習慣病	33.9%	がん	23.7%
精神疾患	1.7%	糖尿病	4.1%
慢性腎臓病	12.5%	高血圧	2.2%
その他	51.8%	脂質異常症	2.7%
		脳梗塞・脳出血	0.8%
		狭心症・心筋梗塞	0.3%
		その他	0.2%

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（虚血性心疾患）（令和5年度）（図6）

		0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	平成29年度	0.000	0.656	0.000	0.000	0.000	0.000
	令和5年度	0.000	0.000	0.718	0.000	0.000	0.000
大阪府	令和5年度	0.005	0.101	0.268	0.487	0.622	0.840
	令和5年度	0.008	0.101	0.285	0.443	0.561	0.762

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（脳血管疾患）（令和5年度）（図7）

		0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	平成29年度	0.000	0.000	0.113	0.000	0.179	0.585
	令和5年度	0.000	2.165	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	令和5年度	0.042	0.353	0.747	1.227	1.269	1.821
全国	令和5年度	0.046	0.355	0.789	1.127	1.162	1.602

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（人工透析）（令和5年度）（図8）

		0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	平成29年度	0.000	0.000	0.000	8.197	0.000	0.000
	令和5年度	0.000	11.905	8.621	0.000	23.256	0.000
大阪府	令和5年度	0.208	1.945	4.217	5.118	5.034	4.749
全国	令和5年度	0.274	2.032	4.586	5.776	3.556	3.402

年齢階級別の新規人工透析患者の割合（令和5年度）（図9）

	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳
衣料品	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%
大阪府	0.003%	0.027%	0.039%	0.051%	0.072%
全国	—	—	—	—	—

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（高血圧性疾患）（図10）

		0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	平成29年度	0.240	7.874	80.500	40.984	101.254	150.585
	令和5年度	3.488	6.494	47.414	112.069	83.333	74.275
大阪府	令和5年度	1.494	19.831	48.788	82.203	112.211	136.497
全国	令和5年度	1.631	19.847	49.997	85.518	113.708	133.092

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（糖尿病）（図11）

		0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	平成29年度	0.000	9.843	14.172	45.082	119.176	661.404
	令和5年度	0.000	4.329	29.454	34.483	69.767	211.957
大阪府	令和5年度	2.514	18.063	39.596	60.708	80.399	101.271
全国	令和5年度	3.062	19.658	41.844	64.750	82.690	100.140

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（脂質異常症）（図12）

		0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	平成29年度	1.921	9.186	38.549	106.557	112.007	114.035
	令和5年度	0.000	0.000	57.471	53.161	112.403	132.246
大阪府	令和5年度	1.870	14.546	33.587	63.534	86.967	97.283
全国	令和5年度	1.823	13.305	31.883	61.456	80.312	87.028

年齢階級別被保険者千人当たり入院レセプト件数（肺炎）（令和5年度）（図13）

	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	0.041	0.097	0.167	0.340	0.411	0.602
全国	0.038	0.103	0.177	0.285	0.327	0.493

年齢階級別被保険者千人当たり入院レセプト件数（骨折・女性）（令和5年度）（図14）

	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	0.110	0.204	0.544	0.932	1.031	1.658
全国	0.088	0.200	0.517	0.825	0.960	1.425

年齢階級別被保険者千人当たり外来レセプト件数（骨粗しょう症・女性・一月当たり）（令和5年度）（図15）

	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	0.000	2.137	12.387	11.905	53.030	74.074
大阪府	0.108	1.269	7.287	23.676	40.547	62.209
全国	0.113	1.205	7.330	23.024	38.749	57.440

後発医薬品利用率の推移（数量シェア）（図16）

	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
衣料品	37.0%	60.0%	62.0%	72.5%	73.1%	75.1%	76.8%	77.8%
大阪府	36.3%	58.0%	60.0%	72.6%	74.8%	75.6%	76.5%	78.4%
全国	38.1%	62.0%	64.0%	79.1%	81.4%	82.0%	83.2%	84.8%

歯科検診の受診率（令和4年度）（図17）

	40歳	50歳	60歳	70歳
衣料品	0.51%	0.26%	0.51%	0.26%
大阪府	0.08%	0.13%	0.11%	0.13%
全国	0.13%	0.16%	0.15%	0.17%

咀嚼機能、嚥下機能および食べる速さの状況（令和5年度）（図18）

		割合			母数			該当数		
		保険者	大阪府	全国	保険者	大阪府	全国	保険者	大阪府	全国
咀嚼	40～49歳	11.5%	10.5%	11.2%	26人	28,796人	583,480人	3人	3,013人	65,380人
	50～59歳	13.6%	14.9%	16.2%	44人	40,589人	823,464人	6人	6,032人	133,081人
	60～64歳	10.7%	17.4%	19.2%	28人	26,438人	661,057人	3人	4,593人	126,970人
	65～69歳	0.0%	19.6%	21.3%	18人	50,720人	1,485,373人	0人	9,917人	316,682人
	70～74歳	31.3%	22.3%	23.9%	16人	85,967人	2,513,653人	5人	19,210人	600,197人
食べる速さ	40～49歳	50.0%	38.6%	35.2%	26人	28,725人	583,905人	13人	11,094人	205,617人
	50～59歳	38.6%	34.6%	31.7%	44人	40,440人	823,249人	17人	13,992人	261,359人
	60～64歳	46.4%	31.0%	27.6%	28人	26,271人	660,750人	13人	8,143人	182,399人
	65～69歳	33.3%	28.2%	25.8%	18人	50,433人	1,484,612人	6人	14,218人	382,307人
	70～74歳	18.8%	26.4%	23.8%	16人	85,452人	2,509,762人	3人	22,520人	597,757人

特定健診受診率の推移（図19）

	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
衣料品	25.8%	36.7%	41.8%	39.1%	40.7%	44.7%	43.5%
大阪府	24.4%	31.5%	35.4%	36.1%	33.6%	36.0%	37.7%
全国	31.8%	44.0%	49.4%	49.8%	45.7%	49.0%	51.0%

性・年齢階級別特定健診受診率の全国、大阪府との比較（令和4年度）（図20）

		保険者	大阪府	全国
男性	40～44歳	41.2%	39.5%	53.9%
	45～49歳	58.8%	39.7%	55.9%
	50～54歳	37.5%	41.2%	58.6%
	55～59歳	57.9%	39.2%	58.6%
	60～64歳	60.0%	37.8%	57.0%
	65～69歳	47.6%	33.2%	53.8%
女性	70～74歳	32.0%	30.5%	49.2%
	40～44歳	35.7%	40.0%	43.8%
	45～49歳	54.2%	39.5%	45.7%
	50～54歳	31.3%	38.4%	47.0%
	55～59歳	48.6%	39.8%	47.1%
	60～64歳	42.4%	36.5%	45.9%
	65～69歳	33.3%	32.9%	43.1%
	70～74歳	38.2%	30.8%	38.9%

月別特定健診受診率の推移（図 21）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和元年度	0.0%	0.0%	11.3%	7.5%	2.4%	0.2%	0.2%	10.8%	4.7%	0.9%	0.2%	0.5%
令和2年度	0.0%	0.0%	8.1%	4.8%	2.5%	0.5%	0.0%	12.9%	10.1%	1.3%	0.0%	0.5%
令和3年度	0.0%	0.0%	8.3%	7.0%	3.2%	0.3%	0.0%	14.4%	6.4%	4.6%	0.0%	0.5%
令和4年度	0.3%	0.0%	11.0%	4.3%	2.3%	0.3%	0.0%	14.7%	7.5%	2.3%	0.0%	0.9%
令和5年度	1.0%	2.9%	10.2%	2.5%	2.9%	0.3%	2.2%	7.9%	10.2%	1.3%	1.6%	0.6%

3年累積特定健診受診率（図 22）

		1回受診	2回受診	3回受診
衣料品	平成30～2年度	19.0%	11.4%	28.0%
	令和3～5年度	17.1%	15.6%	34.6%
大阪府	令和3～5年度	19.0%	13.9%	23.6%

特定健診受診状況と医療利用状況（図 23）

健診受診		なし			あり		
医療利用		なし	生活習慣病以外のみ	生活習慣病あり	なし	生活習慣病以外のみ	生活習慣病あり
衣料品	平成30年度	49.3%	—	—	29.9%	—	—
	令和5年度	16.6%	20.8%	22.0%	2.4%	21.1%	17.2%
大阪府	令和5年度	11.8%	27.6%	22.1%	4.5%	19.9%	14.1%

治療状況別の高血圧重症度別該当者数（令和5年度）（図 24）

高血圧 未治療者	正常	正常高値 (要保健指導)	高血圧 (要受診勧奨)		
	130mmHg未満/ 85mmHg未満	130～139mmHg/ 85～89mmHg	I度 140～159mmHg/ 90～99mmHg	II度 160～179mmHg/ 100～109mmHg	III度 180mmHg以上/ 110mmHg以上
男性	28人	11人	8人	1人	0人
女性	54人	5人	3人	0人	0人
高血圧 治療者	正常相当	正常高値相当	I度高血圧相当	II度高血圧相当	III度高血圧相当
	130mmHg未満/ 85mmHg未満	130～139mmHg/ 85～89mmHg	140～159mmHg/ 90～99mmHg	160～179mmHg/ 100～109mmHg	180mmHg以上/ 110mmHg以上
男性	8人	3人	1人	1人	0人
女性	9人	2人	2人	1人	0人

治療状況別の糖尿病重症度別該当者数（令和5年度）（図 25）

糖尿病 未治療者	正常	要保健指導	糖尿病疑い (要受診勧奨)		
	5.6%未満	5.6～6.4%	6.5～6.9%	7.0～7.9%	8.0%以上
男性	53人	1人	0人	0人	0人
女性	72人	0人	0人	0人	0人
糖尿病 治療者	コントロール良好		コントロール不良		
	6.5%未満	6.5～6.9%	7.0～7.9%	8.0～8.9%	9.0%以上
男性	3人	1人	1人	0人	2人
女性	1人	2人	0人	1人	0人

年齢階級別の糖尿病性腎症重症化予防対象者数（令和5年度）（図 26）

	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
男女計	0人	0人	0人	0人	0人

治療状況別の高LDLコレステロール血症重症度別該当者数（令和5年度）（図27）

脂質異常症 未治療者	正常	要保健指導	高LDLコレステロール血症（要受診勧奨）		
	120mg/dl未満	120～139mg/dl	140～159mg/dl	160～170mg/dl	180mg/dl以上
男性	20人	12人	12人	6人	2人
女性	30人	12人	12人	7人	2人
脂質異常症 治療者	高リスク群目標	中リスク群目標	低リスク群目標	コントロール不良	
	120mg/dl未満	120～139mg/dl	140～159mg/dl	160～170mg/dl	180mg/dl以上
男性	4人	3人	2人	0人	0人
女性	9人	1人	2人	1人	0人

性・年齢階級別喫煙率（令和5年度）（図28）

		40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
衣料品	男性	42.9%	18.2%	21.4%	8.3%	14.3%
	女性	6.7%	22.2%	15.0%	12.5%	7.7%
大阪府	男性	34.3%	29.7%	23.2%	17.5%	14.8%
	女性	9.8%	10.0%	8.0%	5.1%	3.9%

BMI区分別該当者数（令和5年度）（図29）

	18.5未満	18.5～20.0	20.1～22.9	23.0～24.9	25.0以上
男性	1人	2人	17人	19人	22人
女性	11人	19人	27人	8人	11人

腹囲区分別該当者数（令和5年度）（図30）

	80cm未満	80～84cm	85～89cm	90～94cm	95cm以上
男性	10人	17人	16人	7人	11人
女性	45人	14人	9人	5人	3人

メタボ該当者・予備群の出現率の推移（図31）

	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
該当	13.0%	11.2%	11.6%	8.4%	9.9%	8.4%	10.6%
予備群	9.7%	8.5%	12.7%	12.0%	8.7%	18.0%	15.2%

性・年齢階級別メタボ該当者・予備群の割合（令和4年度）（図32）

		40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
男性	予備群	35.3%	20.0%	20.0%	30.0%	50.0%
	該当	11.8%	15.0%	26.7%	10.0%	0.0%
女性	予備群	5.6%	3.7%	7.1%	0.0%	0.0%
	該当	0.0%	0.0%	14.3%	11.1%	23.1%

特定保健指導利用率の推移（図33）

	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
衣料品	25.0%	18.2%	27.6%	21.7%	26.1%	3.1%	18.5%
大阪府	9.7%	8.3%	7.4%	6.9%	7.7%	6.9%	8.5%
全国	—	27.6%	32.0%	32.0%	31.5%	31.5%	32.6%

特定保健指導実施率の推移（図34）

	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
衣料品	25.0%	13.6%	27.6%	21.7%	21.7%	6.3%	11.1%
大阪府	9.3%	8.2%	6.9%	6.4%	7.3%	6.2%	7.2%
全国	2.4%	9.0%	10.1%	10.1%	11.3%	13.2%	13.5%